

常任委員会及び特別委員会の活動 調査研究報告

平成24年常任委員会特定テーマ及び特別委員会重点テーマについて、調査研究結果を取りまとめ、第315回通常会議開会日に各委員長が議場で報告しました。報告書には、執行部に対する提言が盛り込まれています。その提言の一部は次のとおりです。なお、報告書全文は県議会ホームページでご覧になれます。

県政経営委員会

① 総合スポーツゾーンの全体構想
「サッカー場は、施設の稼働率や施設整備費・維持管理費を含めたトータルコスト等を考慮し、陸上競技場との「兼用」とすることが望ましい。」など、総合スポーツゾーンの基本的な考え方、施設整備の方向性など五つの視点から提言しています。



総合スポーツゾーン建設現場

② 徴収等職員の確保
「市町徴収職員の派遣受入れや併任支援などの市町との連携を一層密にして、個人県民税の収入確保を図る取組を積極的に実施していく必要がある。」など、積極的な収入確保対策の実施、滞納を未然に防止するための取組など四つの視点から提言しています。

生活保健福祉委員会

① 今後の消費者行政の推進
「平成二十七年度までの全市町への消費生活センター設置に向けて、引き続き、未設置の町にセンター設置の支援を継続していくべきである。」など、今後の消費者行政の推進に関して、どこに住んでも五つの視点から提言しています。

② 長寿社会における健康づくり
「県民全体の健康づくりには、全県的な取組を進めることが望まれるところであり、その柱として、健康づくり推進条例(仮称)の制定が必要である。」など、県民の健康づくりに関して、健康づくり県民運動の積極的な展開など五つの視点から提言しています。



健康づくり大会の様子

農林環境委員会

① 再生可能エネルギーの導入促進
「県の保有する土地や建物等を積極的に活用し、率先的に再生可能エネルギーの導入を図るべきである。」など、施策の戦略的推進や県が担うべき役割、各再生可能エネルギーごとに留意すべき事項について提言しています。



メガソーラー発電設備

② 馬頭最終処分場の整備
「早期着工に向けて、取得済みの事業用地の中で事業計画の変更を視野に入れた方向性を速やかに示すべきである。」など、整備促進に向けて四つの視点から提言しています。

経済企業委員会

① 企業立地戦略
「本県の優遇制度が立地企業にとって真に魅力ある制度となるよう、補助・融資制度全般を見直し、時代の変化に対応するものとすべきである。」
「東京に近いエリアでの用地確保、一社一社の希望に添った用地提供など、戦略性のある工場等建設用地の提供方法を検討すべきである。」

② 成長分野に加え、幅広い業種から、一社一社が力を持ったオンリーワン企業や大手企業から選ばれる中小企業など、将来性のある企業について誘致の可能性を探求すべきである。」など、企業立地促進のための効果的な施策の視点を検討し、施策の方向性と併せて提言しています。



宇都宮清原工業団地

県土整備委員会

① 県民の生命・財産の安全と安心を守る
「県土整備づくり
「今後の道路整備にあたっては、『防災』に加え、『減災』の視点も取り入れ、防災・減災のための道路ネットワークの強化や避難所等周辺の道路整備を計画的に推進すること。」
「計画規模を上回る大雨などに対しても、浸水被害等を最小限に抑える減災・防災対策を検討し、効果的に実施していくこと。特に過去の浸水被害箇所や甚大な被害が予想される箇所については、優先的に対策を検討すること。」
「外壁の全面打診調査や天井材など非構造部材の耐震化についても、所管部局と連携しながら、スピード感を持って取り組むこと。」など、大規模な地震や災害に備えていくために、減災・防災の観点から提言しています。



さくら市お丸山公園修復現場

文教警察委員会

① 教員の資質と指導力の向上
「特別支援教育に関する専門性の向上を図るための研修の充実や、市町教育委員会との連携による支援体制の充実に努める必要がある。また、いじめをはじめとする問題行動等に対する指導力の向上を図る必要がある。」など、研修の充実、教員採用方法の改善など四つの視点から提言しています。

② 子どもの安全・安心の確保
「栃木県子どもを犯罪の被害から守る条例(仮称)」を制定し、現行の法律で規制されていない行為(子どもに不安を与える行為、子どもを威迫する行為、児童ポルノを所持する行為)を規制すべきである。」など、子ども安全対策の強化、安全で安心なまちづくりの推進、子どもの安全・安心のための交通環境の確保の三つの視点から提言しています。



防犯ボランティア活動の様子

災害対策特別委員会

① 災害に強い地域づくりの推進
「災害時に重要な役割を果たす防災拠点となる公共施設(県・市町の庁舎、学校、幼稚園、保育所、体育館、病院、社会福祉施設、道の駅など)に対する太陽光発電設備や蓄電池など再生可能エネルギーの導入を進めること。」など災害に強い地域づくりに向けた提言をしています。



太陽光発電設備(宇都宮工業高等学校)

② 震災(特に放射線被害)からの復興に向けた取組の促進
「指定廃棄物最終処分場の設置にあたっては、地元自治体や住民の理解が不可欠であるので、候補地選定の理由や施設の安全性等について、地元の理解が得られるよう十分に説明責任を果たすことを設置主体である国に対して強く求めると同時に、処分先の確保は本県全体の課題であるとの認識を持ち、県としても、国と関係自治体との調整に努めること。」などを提言しています。

産業振興対策特別委員会

① 中小地場産業・観光業の活力向上
「日本貿易振興機構等との連携を図るなどして、伝統工芸品の有する高い技術力や品質を活かした海外への展開方策について検討していく必要がある。」など、新商品開発、販路拡大、後継者の育成、確保、観光ニーズへの対応強化など十の視点から提言しています。

② フードバレーとちぎの推進
「ヒット商品を生み出していくためには、地域の文化や歴史に根ざしたストーリー性やブランド価値を持ち、消費者に魅力的な本物志向の商品づくりを進める必要がある。」など、栃木県の特産品を活かした商品づくりの推進や多様なニーズに対応する農業生産の対応力の強化など六つの視点から提言しています。



食品30

第317回 通常会議の開催予定

第317回通常会議は、2月19日(火)から開催する予定です。また、本会議(質疑・質問)及び予算特別委員会(総括質疑)については、とちぎテレビ、栃木放送(ラジオ)、インターネットで生中継されます。

なお、本会議(質疑・質問)や予算特別委員会(総括質疑)等の日程については県議会ホームページでご確認いただくか、県議会事務局議事課(TEL.028-623-3761)までお問い合わせください。

県議会ホームページアドレス
<http://www.pref.tochigi.lg.jp/p01/kengikai>

議会コンサートのお知らせ

二月十九日(火) (次回通常会議開会日) 午前10時から、議事堂一階ホールで栃木県交響楽団とフルート奏者・栗田智水さんによる演奏会が行われますので、ぜひご来場ください。

詳しくは県議会事務局議事課(電話)〇二八-六三三-三七五四)までお問い合わせください。

◆ 議会のうごき ◆

◆ 新議長・副議長の選出 ◆

平成二十四年定例会開会日、高橋文吉議長と五月女裕久副議長の辞任に伴う正副議長選挙が行われ、第百代議長に三森文徳議員(とちぎ自民党、四期)が、副議長に那須山山市(那珂川町選挙区)、第一〇七代副議長に小林幹夫議員(とちぎ自民党、三期、鹿沼市、西方町選挙区)が選出されました。

◆ 会派構成の変更 ◆

平成二十五年二月一日現在の会派構成は次のとおりです。

とちぎ自民党議員会	二十九人
みんなのクラブ	十一人
民主党・無所属クラブ	四人
公明党栃木県議会議員会	三人
県民第一の会	二人
元気クラブ	一人

議長 三森 文徳
副議長 小林 幹夫